

プログラム

8月29日(土)

第1会場(岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール 西)

8:30-9:25 シンポジウム1：未破裂脳動脈瘤の内科治療

座長：吾郷 哲朗(九州大学大学院医学研究院
病態機能内科学分野(第二内科))
大宅 宗一(群馬大学 脳神経外科)

SY1-1 未破裂脳動脈瘤に対する内科的リスクコントロールの現状と展望

平野 照之(杏林大学 脳卒中医学)

SY1-2 血管内皮細胞の血流感知機構に着目した脳動脈瘤治療の試み

福田 俊一(国立病院機構 京都医療センター 脳神経外科)

SY1-3 紡錘状脳動脈瘤の遺伝子解析と病態解明

中冨 浩文(国際医療福祉大学 脳神経外科 /
理化学研究所 脳神経科学センター)

SY1-4 PD-L1陽性老化細胞を標的としたPD-1/PD-L1経路阻害による脳動脈瘤破裂の予防

前田 拓真(埼玉医科大学国際医療センター 脳神経外科・脳卒中外科 /
Barrow Aneurysm and AVM Research Center, Barrow
Neurological Institute)

9:30-10:30 スポンサーセミナー1：iEDコイルとSHOURYUで考える脳動脈瘤塞栓術

座長：佐藤 徹(近畿大学病院 脳卒中センター)

共催：株式会社カネカメディックス

SS1-1 iEDコイルを駆使した脳動脈瘤塞栓術

有村 公一(九州大学病院 脳神経外科)

SS1-2 柔らかさを変える破裂脳動脈瘤治療～i-EDコイルを活かした低侵襲治療戦略～

松重 俊憲 (広島市立北部医療センター安佐市民病院 脳神経外科・脳血管内治療科)

SS1-3 SHOURYUバルーンカテーテルの使い所

長谷川 仁 (新潟大学脳研究所 脳神経外科)

10:35-11:50 シンポジウム2：脳動脈瘤の画像診断の発展

座長：野川 茂 (東海大学医学部附属八王子病院 脳神経内科)

竹田 理々子 (帝京大学医学部附属溝口病院 脳神経外科)

榎本 由貴子 (岐阜大学医学部附属病院 脳神経外科)

SY2-1 未破裂脳動脈瘤のAI診断

井川 房夫 (島根県立中央病院 脳神経外科)

SY2-2 Aneurysm wall biology imaging

～破裂瘤と未破裂瘤から読み解くVWI研究の現在地～

松重 俊憲 (広島市立北部医療センター安佐市民病院 脳神経外科・脳血管内治療科)

SY2-3 脳血管撮影装置の進化、アプリケーションの進化

田中 美千裕 (亀田総合病院 脳神経センター 脳神経外科・脳血管内治療科・
脊髄脊椎外科)

SY2-4 瘤壁のVessel wall imagingは部分血栓化脳動脈瘤に対する塞栓術の瘤縮小効果を予測する

中川 一郎 (奈良県立医科大学脳神経外科)

SY2-5 脳動脈瘤における親動脈屈曲および突出方向の3D定量評価と血管内治療戦略

当麻 直樹 (三重大学医学部 地域連携脳血管内治療学講座)

SY2-6 W-EB留置後脳動脈瘤に対するphoton-counting detector CT angiographyの初期経験

平松 匡文（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科学）

12:00-13:00 ランチョンセミナー1：再発予防に難渋する心房細動合併脳梗塞

座長：藤本 茂（自治医科大学 内科学講座 神経内科学部門）

共催：第一三共株式会社

LS1-1 八木田 佳樹（川崎医科大学 脳卒中医学）

13:10-13:20 事務局報告（HS賞授賞式）

13:25-14:05 教育講演：脳動脈瘤の発生、増大、破裂のメカニズムと薬物療法の可能性

座長：栗田 浩樹（埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科）

EL-1 青木 友浩（東京慈恵会医科大学 薬理学講座）

14:10-15:25 シンポジウム3：日本発脳動脈瘤の臨床研究

座長：豊田 一則（国立循環器病研究センター）

藤村 幹（北海道大学 大学院医学研究院 神経病態学分野
脳神経外科学教室）

SY3-1 脳動脈瘤の発生と破裂を科学する：これまでとこれから

森田 明夫（東京労災病院）

SY3-2 未破裂脳動脈瘤に対する血管内治療は安全に行われてきたか？：JR-NET研究統合解析
佐藤 徹（近畿大学病院 脳卒中センター）

SY3-3 日本発のエビデンス：くも膜下出血後脳血管攣縮に対するクラゾセンタンの有効性
遠藤 英徳（東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野）

SY3-4 脳ドックで発見された未破裂脳動脈瘤と長期生命予後-神経学的に健常な日本人成人を対象とした前向きコホート研究 (Kashima Scan Study) -
緒方 敦之（佐賀大学 脳神経外科）

SY3-5 AYA世代におけるくも膜下出血の臨床的特徴
飯塚 瑞帆（埼玉医科大学国際医療センター 脳神経外科・脳卒中外科）

SY3-6 日本の脳神経外科診療の特徴を活かした破裂脳動脈瘤の臨床研究
特に開頭術と血管内手術の使い分けについて
福田 仁（高知大学医学部附属病院 脳神経外科）

15:30-16:25 シンポジウム4：全身疾患と脳動脈瘤

座長：八木田 佳樹（川崎医科大学 脳卒中医学）
吉田 和道（滋賀医科大学 脳神経外科）

SY4-1 感染性心内膜炎における神経合併症と感染性脳動脈瘤
岡崎 周平（国立病院機構大阪医療センター 脳神経内科）

SY4-2 多発性嚢胞腎と脳動脈瘤
福田 竜丸（市立豊中病院 脳神経外科）

SY4-3 内科的視点からみた頭蓋内脳動脈解離の疫学・病態・診断と管理
大山 直紀（川崎医科大学 脳卒中医学）

SY4-4 傾向スコアマッチングを用いた維持透析患者における未破裂脳動脈瘤クリッピング術の治療成績

前田 拓真（埼玉医科大学国際医療センター 脳神経外科・脳卒中外科）

16:30-18:00 シンポジウム5：脳動脈瘤の外科治療最前線

座長：当麻 直樹（三重大学大学院医学系研究科 脳神経外科学）

高橋 淳（近畿大学医学部 脳神経外科）

三上 毅（市立札幌病院 脳神経外科）

SY5-1 テーラーメイド脳動脈瘤モデルを使用した血管内治療シミュレーション

杉生 憲志（岡山大学大学院 脳神経外科）

SY5-2 内頸動脈-後交通動脈分岐部瘤に対するフローダイバーター留置術の長期成績

榎本 由貴子（岐阜大学 脳神経外科）

SY5-3 FD治療困難因子を有する動脈瘤に対するoverlapping flow diverter with coiling (OFDC) の有用性の検討

坂本 誠（鳥取大学 脳神経外科）

SY5-4 大型・巨大脳動脈瘤に対するflow diverter後delayed ruptureの病態と対策

堀江 信貴（広島大学脳神経外科）

SY5-5 破裂脳動脈瘤の治療選択における二刀流術者の役割と課題

井上 智（川崎医科大学 脳神経外科）

SY5-6 脳動脈瘤直達術者育成の最前線：現状と将来への示唆（アンケート分析）

竹田 理々子（帝京大学医学部附属溝口病院 脳神経外科）

SY5-7 難治性動脈瘤に対する動脈瘤制御を見据えた多角的複合治療戦略

真貝 勇斗（広南病院脳神経外科）

SY5-8 FD時代における巨大・大型脳動脈瘤治療の最前線：段階的治療と外科的治療の役割

武 裕士郎（埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科）

18:00-18:25 総括

栗田 浩樹（埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科）

高橋 淳（近畿大学 脳神経外科）

プログラム

8月29日(土)

第2会場(岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール 東)

8:30-9:20 一般口演1: 開頭手術

座長: 川堀 真人(北海道大学大学院医学研究科 脳神経外科)

○1-1 未破裂脳動脈瘤開頭クリッピング術後の頭痛と回復の質の検討

伊藤 嘉朗(筑波大学 医学医療系 脳神経外科)

○1-2 未破裂脳動脈クリッピング術前後の脳拍動についての検討

坂下 恭也(市立札幌病院 脳神経外科)

○1-3 未破裂脳動脈瘤クリッピング術後の在院日数に関連する心理社会的因子の探索的検討

鈴木 比女(市立札幌病院 脳神経外科)

○1-4 破裂脳動脈瘤治療におけるサイズおよび部位の影響: 単施設後方視的検討

宮田 悠(滋賀医科大学 脳神経外科学講座)

○1-5 小型破裂脳動脈瘤に対する開頭術の挑戦 — 126例の治療成績と根治性 —

佐藤 吉通(広南病院 脳神経外科)

○1-6 小型破裂嚢状脳動脈瘤に対する開頭クリッピング術の当院での治療経験

瀬川 将史(NTT 東日本関東病院 脳神経外科)

○1-7 前方循環動脈瘤クリッピングにおけるsubfrontal approachとdistal transsylvian approachを組み合わせた術野展開の意義

— 解剖理解と手術教育の観点から —

江田 大武(国立病院機構浜田医療センター 脳神経外科)

9:30-10:30 スポンサーセミナー2：W-EBがもたらす脳動脈瘤治療のパラダイムシフト

座長：杉生 憲志（岡山大学 脳神経外科）

共催：テルモ株式会社

SS2-1 W-EB ―内科医の立場から―

山本 伸昭（徳島大学 脳神経内科）

SS2-2 W-EB17による脳動脈瘤治療戦略の進化

坂本 誠（鳥取大学 脳神経外科）

10:35-11:25 一般口演2：高難度動脈瘤・脳血管攣縮

座長：有村 公一（九州大学大学院医学研究院 脳神経外科）

○2-1 脳底動脈遠位部動脈瘤クリッピング術における術野拡大の工夫
―Transsylvian approachを基盤とした頭蓋底手技のバリエーション―

馬越 通有（NTT東日本関東病院 脳神経外科）

○2-2 血管内治療時代における遠位脳底動脈瘤に対する直達手術

一ノ瀬 努（大阪公立大学 脳神経外科）

○2-3 治療困難な脳動脈瘤に対する外科的 flow alteration therapy の成績と課題

堀川 弘吏（虎の門病院 脳神経外科）

○2-4 脳動脈瘤を合併した脳動静脈奇形に対する治療戦略

奥山 友浩（北海道大学 脳神経外科）

○2-5 破裂血豆状動脈瘤の治療成績

西廣 真吾（香川県立中央病院 脳神経外科）

- 2-6 クラゾセンタン投与前に肺水腫・胸水貯留を予測できるか：
年齢・腎機能・血清Na・BNPに基づくリスクスコアの検討

齊藤 徹（埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科）

- 2-7 脳血管攣縮期に入院した破裂脳動脈瘤症例の治療実態
-クラゾセンタン導入前後での比較-

柳川 太郎（水戸ブレインハートセンター 脳神経外科）

12:00-13:00 ランチョンセミナー2：脳動脈瘤手術の術者教育

座長：伊達 勲（岡山労災病院）

共催：グンゼメディカル株式会社

- LS2-1 脳動脈瘤に対する血管内治療の術者教育

松丸 祐司（筑波大学 医学医療系脳神経外科）

- LS2-2 脳動脈瘤手術の手術教育 ～教える側、教わる側～

黒田 敏（富山大学医学部 脳神経外科）

14:10-15:15 一般口演4：血管内治療

座長：木村 尚人（南昌病院 脳神経外科）

- 4-1 単一術者による破裂小型脳動脈瘤に対するコイル塞栓術の特徴と成績

能代 将平（帯広厚生病院 脳神経外科）

- 4-2 破裂椎骨動脈解離に対する当院での治療成績

松原 麻央樹（新東京病院 脳神経外科）

- 4-3 くも膜下出血急性期におけるステントアシストコイル塞栓術の治療成績

岡 史朗（山口大学 脳神経外科）

○4-4 脳動脈瘤の体積に対するOrificeの面積の割合が大きい破裂嚢状動脈瘤はコイル塞栓術後の慢性期の再発率が高い

高麗 雅章（徳島大学 脳神経外科）

○4-5 ワイドネック型未破裂前交通動脈瘤に対するTステントの有用性

徳永 聡（国立病院機構 九州医療センター 脳血管内治療科）

○4-6 Flow Diverter治療におけるCYP2C19遺伝子多型とPRUに基づく個別化抗血小板療法の検討

設楽 智史（滋賀医科大学 脳神経外科）

○4-7 “Piecemeal Helix” strategyによる脳動脈瘤コイル塞栓術の実際

上田 浩太郎（亀田総合病院 脳血管内治療科）

○4-8 未破裂傍前床突起部動脈瘤に対する血管内治療後アウトカムにおける動脈瘤サイズとフローダイバーター使用の影響

田中 寛大（近畿大学医学部脳神経外科）

○4-9 脳動脈瘤に対する遠位端可動型マイクロカテーテルの使用経験

加藤 侑哉（広南病院 血管内脳神経外科）

15:30-16:20 一般口演5：画像診断・シミュレーション

座長：鈴木 祥生（よこすか浦賀病院 脳神経外科）

○5-1 クラゾセンタン投与終了後の遅発性血管攣縮に対してArterial Spin Labeling法は有用である

熊谷 昌紀（高山赤十字病院 脳神経外科）

○5-2 特発性前大脳動脈解離による脳梗塞における脳動脈瘤形成

岩本 高典（川崎医科大学 脳卒中医学）

○5-3 3D iFlowを用いた海綿静脈洞部大型・巨大内頸動脈瘤に対するフローダイバーター治療効果予測の有用性

有村 公一（九州大学病院 脳神経外科）

○5-4 脳動脈瘤瘤壁造影効果による不安定性評価の現状と課題

面高 俊介（広南病院 血管内脳神経外科）

○5-5 フローダイバーター展開におけるリアルタイムAI可視化の試み

坂倉 悠哉（NTT東日本関東病院 脳神経外科）

○5-6 未破裂脳動脈瘤クリッピング術におけるGRIDを用いた術前シミュレーションの有用性

西 和彦（岩国医療センター 脳神経外科）

○5-7 次世代AI支援を用いた脳動脈瘤塞栓術教育プログラムの実施可能性評価

長内 俊也（北海道大学病院 脳神経外科）

16:30-17:15 一般口演6：症例報告2

座長：岡本 奨（あいちリハビリテーション病院 脳神経外科）

○6-1 非特異的な脳出血で発症した特発性前大脳動脈穿通枝動脈瘤破裂の1例

地主 裕太郎（帝京大学医学部附属溝口病院 脳神経外科）

○6-2 局在により異なるアプローチを選択し治療したDistal PICA瘤の2例

郡 隆輔（社会医療法人 祥和会 脳神経センター大田記念病院 脳神経外科）

○6-3 板間静脈を温存して開頭した未破裂脳動脈瘤の1例

宮崎 一輝（川崎市立多摩病院 脳神経外科）

○6-4 血流温存を目的に開頭術と血管内治療を併用した大型末梢性未破裂後大脳動脈瘤の1例

松田 真伍（広島大学大学院医系科学研究科 脳神経外科学）

O6-5 Bypassによるside-wall化後にFlow Diverterを留置した複雑中大脳動脈瘤の1例

永野 祐志 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科)

O6-6 脳梗塞患者における食物繊維摂取量と頭蓋内動脈狭窄の関連

山口 隆 (岩手県立中部病院 脳神経内科)

O6-7 増大する中大脳動脈giant serpentine aneurysmに対して術前シミュレーションが有用であった1手術例

丸野 真人 (川崎医科大学 脳神経外科)

プログラム

8月29日(土)

第3会場(岡山コンベンションセンター 3F 301)

9:30-10:30 スポンサーセミナー3: 進化する脳動脈瘤治療のトレンド

座長: 井上 智弘 (NTT東日本関東病院)

共催: 日本ストライカー株式会社

SS3-1 破裂脳動脈瘤の「急性期破裂部完全閉鎖」と「慢性期再発コントロール」を達成するために ～治療モダリティ選択と複合治療～

福田 仁 (高知大学 脳神経外科)

SS3-2 脳動脈瘤治療の未来を見据えて一直達手術の価値と技術継承—

吉金 努 (島根大学 脳神経外科)

10:35-11:15 一般口演3: 症例報告1

座長: 板橋 亮 (岩手医科大学内科学講座 脳神経内科・老年科分野)

O3-1 頭頸部癌に対する放射線治療後に発生した内頸動脈海綿静脈洞部仮性動脈瘤破裂の1例—放射線誘発血管障害と脳動脈瘤形成についての考察—

小松 克也 (札幌医科大学 脳神経外科学講座)

O3-2 Flow Diverter治療における高難度症例の2例

市川 智教 (伊勢赤十字病院 脳卒中センター 脳神経外科)

O3-3 CFD解析を用いて治療戦略を決定したdome-originating branchを伴う脳底動脈紡錘状動脈瘤の1例

黒田 祐輔 (三重県立総合医療センター 脳神経外科)

○3-4 もやもや病に合併する末梢性脳動脈瘤の治療戦略

水嶋 慎（北海道大学病院 脳神経外科）

○3-5 破裂後交通動脈解離性動脈瘤に対してPAOを行った1例

盧 秀明（群馬大学医学部 脳神経外科）

○3-6 Basilar Trunk の再発難治性動脈瘤に対して Flow Diverter を追加留置した一例

滝澤 由基（新東京病院 脳神経外科）